

すでに実用化されている再生医療をご存じですか？

# 変形性ひざ関節症に、再生医療 「ASC(脂肪由来幹細胞)治療」

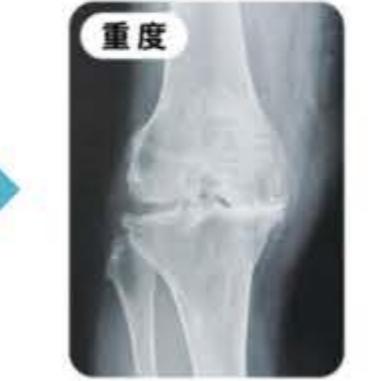
 大森整形外科リウマチ科

(福井県福井市)



院長  
大森 弘則 先生

「変形性ひざ関節症」とは、軟骨がすり減り、炎症を起こして痛みや腫れが生じる疾患です



変形性ひざ関節症をはじめとする、関節の痛みにお悩みの方へ

再生医療「ASC治療」を実施している医療機関の検索や、治療に関する情報はこちら

Q2 再生医療「ASC治療」とは、  
どのような治療ですか？

A 患者さんご自身から採取した  
脂肪由来の「幹細胞」を用いた治療です

中高年世代を悩ませる、つらいひざの痛み。その原因の一つである変形性ひざ関節症の患者は日本で2500万人以上いると言われており、もはや国民病と言っても過言ではありません。そうしたなか、治療の新しい選択肢として、再生医療が注目されています。そこで、関節治療のスペシャリストである大森整形外科リウマチ科(福井県福井市)院長の大森弘則先生に、再生医療に関するさまざまな疑問について答えていただきました。

Q1 再生医療とは、何ですか？

A 人が本来備えている  
「再生する力」を利用する医療です

変形性ひざ関節症に対しては、主に患者さんご自身の血液を利用する「PRP(多血小板血漿)療法」と、脂肪を利用する「ASC治療」があります。「PRP療法」は主に抗炎症作用が期待でき、「ASC治療」については軟骨の修復作用を高めたという報告もあるようです。

Q4 再生医療「ASC治療」を受ける際に、  
気をつけることはありますか？

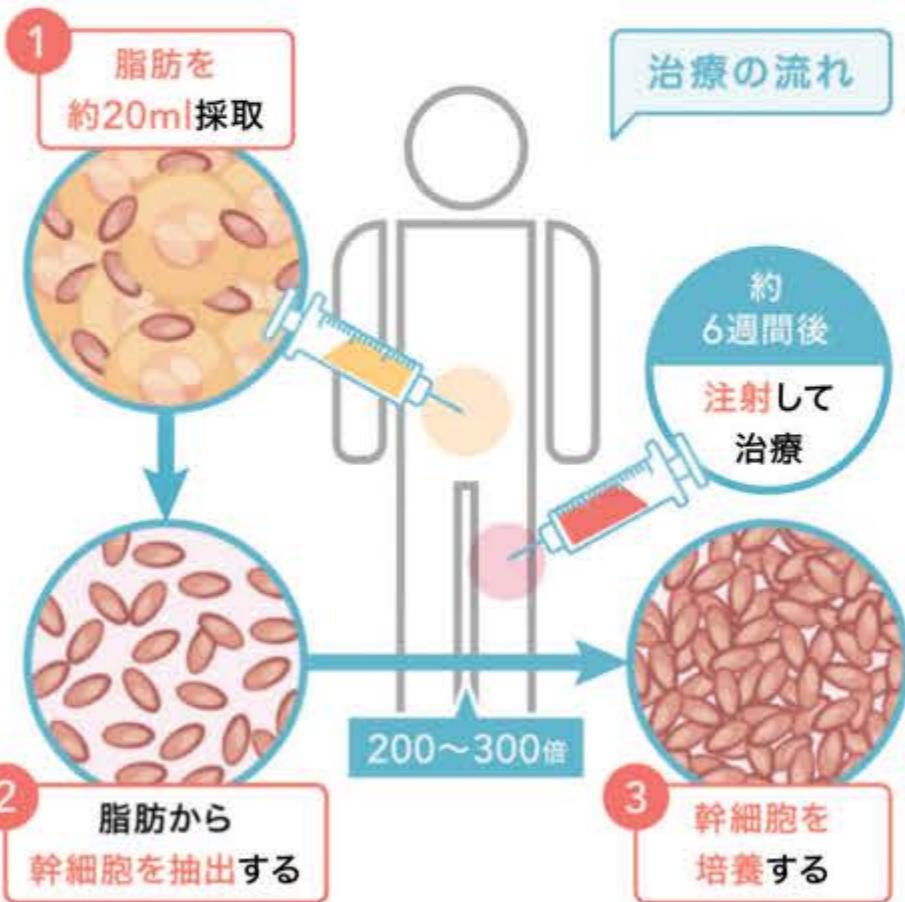
A 自由診療となり、  
効果には個人差があります

新しい治療法のため自由診療となり、費用は全額自己負担です。また、期待される効果は患部の状態などによって変わるため個人差があり、すべての方に効果効能を保証するものではない点は注意が必要です。しかし、骨切りや人工関節などの入院を必要とする手術ではないため、手術療法に抵抗がある方にとって治療の選択肢として検討できることは有意義なことだと思います。まずは早期に受診してひざの状態を把握し、専門医と相談しながらご自身にとって最適な治療法を選ぶことが大切です。

Q3 再生医療「ASC治療」は、  
どのような流れで治療しますか？

A 下図のような流れで行い、  
入院不要・外来診療で受けられます

患者さんご自身の皮下脂肪を採取し、専門機関で「幹細胞」を抽出・培養した後、注射で投与します。培養された「幹細胞」は凍結保存されているため、長期的な保管が可能。投与するタイミングに融通がきくほか、1回の採取で複数回に分けて投与することもできます。



医療機関の  
検索はこちら



ASC治療の  
詳細はこちら

